

第14回「広島・上海ネットワーク協議会」

洲澤 輝

2月26日(火)、当上海事務所が主催する「広島・上海ネットワーク協議会」を上海市内の飲食店「そば処紋兵衛」で開催しました。毎年1回開催しているネットワーク協議会は、今年で14回目を迎えました。今回のネットワーク協議会は参加企業数が初参加2社を含む12社、参加者数が16名でした(講師とひろしま産業振興機構スタッフを除く。)。また、講演会では、桜葉コンサルティング株式会社の遠藤代表取締役社長と上海力得思人才信息咨询有限公司の須賀董事長に講演していただきました。以下、ネットワーク協議会の当日の様子をお伝えいたします。

＜セミナー第1部「中国最新事情」＞

今回のセミナーは2部に分かれており、第1部では桜葉コンサルティング株式会社の遠藤社長より「中国最新事情」について講演していただきました。主に米中貿易戦争を中心に、アメリカと中国の追加関税による攻防合戦の最新情報や次世代高速通信技術5Gの規格を巡る覇権争いなどについて、中国ビジネスに精通した遠藤社長の目線で分かりやすく説明していただきました。

＜セミナー第2部「激動の中国で勝ち抜くための人材確保」＞

第2部では、上海力得思人才信息咨询有限公司の須賀董事長に、「上海の日系企業に共通する現状と問題点」について、具体例を取り上げながら講演していただきました。近年、上海などの大都市では、物価上昇に伴う人件費の高騰やオフィス賃料の上昇により、上海から撤退する日本企業も現れています。

講演では、現地日系企業で働く優秀な中国人が、より良い条件(賃金)を求めて他社へ転職するケースが多いことや、現地法人で働く日本人駐在員の語学力不足が現地中国人従業員とのコミュニケーションに大きな壁を作っていることなどが取り上げられました。

須賀董事長の意見としては、素質の良い中国人の若者に、ゼロから日本本社の社風・イデオロギを注入してしっかり育て、10年後に社内の幹部を担う貴重な人材へと育て上げることが必要であると主張されました。

長い年月が掛かりますが、ゆっくと時間を掛けてグローバルな人材を育て上げることが一番の近道かもしれません。

＜意見交換会＞

セミナー終了後は、両講師と参加企業による意見交換会を行いました。須賀代表には、「上海の中国人給与は年々上昇しているのか?」、「今後も彼らの給与は上昇していく傾向にあるのか?」などの質問が投げ掛けられました。遠藤社長には、「中国で外国人が拘束されるケースについて」の話題が参加者から投げ掛けられました。これには他の参加者からの実体験に基づく回答などあり、中国で生活するに当たって注意しておかなければいけないことを参加者全員で共有することができました。

＜懇親会＞

セミナーと意見交換会の後は、席を移して懇親会を開催しました。講師を囲んだ懇親会では、ビジネストークや地元広島の話などで各テーブルは大変盛り上がりしていました。

今回、私にとっては初めての「広島・上海ネットワーク協議会」の企画開催でしたが、セミナーは参加者にとって大変有益な内容となっており、懇親会でも参加者同士の親睦を深めることができたので私自身達成感を得ることができました。

「広島・上海ネットワーク協議会」は毎年1回開催しております。上海駐在者に限定しているわけではなく、広島県や中国他地域からの参加も可能です。ここ上海で広島県内企業との意見交換や懇親の場として活用できるので、今後上海への進出を考えている県内企業にとっても情報収集の場となります。引き続き「広島・上海ネットワーク協議会」では、広島県内企業の皆様のご参加をお待ちしております。

